

カリフォルニアの風

第10号 令和8年1月13日 発行
サンフランシスコ日本語補習校
校長 相澤 順

「一歩一歩、前へ」

皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。新年最初の授業日、サンフランシスコ・ベイエリアには新春にふさわしい青空が広がっていました。また、幼小部の2校では、保護者会の皆様に「新年お楽しみ会」を開いていただき、子どもたちの活気にあふれる新年のスタートとなりました。



【青空のもと、全校朝会：中高SF校】

さて、今年は午（うま）年です。馬は古くから「前へ前へと進む力」や「人と人をつなぐ存在」として親しまれてきました。一歩一歩力強く大地を踏みしめ、時には仲間と歩調を合わせながら進む姿は、学びを積み重ねる子どもたちの姿にも重なります。本校の子どもたちには速さだけを競うのではなく、自分のペースを大切にしながら前進する一年にしてほしいと願っております。

ここアメリカで育つ子どもたちにとって、日本語は教科等を通して学ぶ言葉であると同時に、家族や文化とつながる大切な言葉です。言葉に親しむことは、自分の思いを表し、相手を理解する力を育てることであります。本校では、これからも授業や行事を通して、日本語を使う楽しさや、伝わる喜びを実感できる学びを大切にしていまいります。

新しい年も、子どもたちが安心して挑戦し、互いを認め合いながら成長できる場であり続けられるよう、教職員一同、力を尽くしてまいります。本年も、保護者の皆様、学校関係者の皆様のお力添えを賜りながら歩んでまいりたいと存じます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

海外子女文芸作品コンクール入選のお知らせ

海外子女教育財団主催の「海外子女文芸作品コンクール」（外務省・文部科学省・NHK後援）は、今年度で第46回を迎えました。本コンクールは、「正しく豊かな日本語で自ら表現する力を身につけてほしい」というねらいのもと、世界各地で生活する児童・生徒を対象に毎年実施されています。

今年度も、詩・作文・短歌・俳句の各部門に、世界中から31,937点もの応募が寄せられました。その中で、本校の児童生徒の作品が5点入選するという大変うれしい結果となりましたので、ご紹介します。

作文 優秀 小1 片岡 昂樹 さん

俳句 佳作 小4 柴山 みあ さん

短歌 特選 中2 高谷 和海 さん

詩 優秀 中2 松井 ディシニ モモ さん

俳句 優秀 中3 林 紗羅 さん

日頃の学習の成果を生かし、自分の思いや感じたことを日本語で丁寧に表現した作品が評価されたことを、大変誇りに思います。

2026年も本校では、6月下旬に応募作品を取りまとめ、主催団体へ送付する予定です。文章を書くことや言葉で表現することに挑戦するよい機会です。今年も多くの児童生徒のみなさんが積極的に取り組み、日本語の表現力をさらに高めてくれることを期待しています。

学びをことばと音にのせて ー特別授業発表会ー : 幼小SJ校



12月20日、特別授業発表会を開催しました。各学年が学習の到達段階に応じたテーマを選び、日々の授業や練習を積み重ねて本番に臨みました。

幼稚部では、将来の夢を一人ひとりが大きな声で発表した後、唱歌を身体全体でリズムよく表現しました。1年生は、ひらがなの音や響きを感じ取りながら、北原白秋の「あめんぼの歌」を暗唱や歌で披露し、日本語のもつ心地よいリズムを生き生きと表しました。2年生は、日本の四季の移ろいを感じさせる春夏秋冬の詩を覚えて発声し、1年生と合同で「お正月」の歌を届けました（左上写真）。

3年生は「富士山」を歌う（右下写真）とともに、事前に調べた富士山に関する内容を分かりやすくまとめて紹介しました。4年生は、国語で学習した「ごんぎつね」を題材に、リコーダーや鈴の演奏、歌を織り交ぜながら群読を行い、物語の世界を豊かに表現しました。

5年生は昔の物語が自分たちの生活と繋がっていることを思いながら、竹取物語や方丈記、平家物語の紹介と暗唱の発表をしました。6年生は谷川俊太郎の詩「生きる」を、心を込めて朗読した後、自分たちの考えを重ねたオリジナルの「生きる」の詩を続けて発表しました。

会場からは、子どもたちの成長を感じ取った保護者や教職員の温かな拍手が何度も送られました。本発表会は、学習の成果を発表するだけでなく、表現する喜びや仲間とつくり上げる達成感を味わう貴重な機会となり、また、日本の文化や伝統と、今を生きる自分たちとのつながりを実感できる発表会となりました。



活動風景より 図書委員会の活躍：中高SJ校

12月6日、昼休みに、図書委員会がスカベンジャーハントを実施。物語や登場人物に関するクイズを手がかりに答えを導き出し、最終的に一冊の本の題名を当てるというゲーム。

パビリオンに設置された4つのブースのヒントを解きながら、生徒たちは探偵になったかのように取り組んでいました。答え合わせのブースには次々と生徒が集まり、図書委員の呼びかけに耳を傾けながら、明るく答えを書き込む姿がとても印象的でした。



【図書委員よりクイズの出題中】

行事風景より 笑顔あふれる「新年お楽しみ会」開催：幼小SF校・幼小SJ校

1月10日、幼小部SF校・SJ校の両校で、保護者会主催の「新年お楽しみ会」が開催されました。

SF校では初詣体験や餅つき体験などを、SJ校では獅子舞の鑑賞や新年にちなんだ行事や遊びを楽しみ、子どもたちには笑顔があふれ、新年早々日本の伝統文化を十分に堪能することができました。

SJ校の様子を拝見しましたが、準備や運営に携わってくださった保護者会の皆様のアイデアや創意工夫に感服いたしました。

子どもたちのために貴重な機会をご提供いただき、誠にありがとうございました。

【←初詣と餅つき体験：SF校】

【コマとかるた遊び体験：SJ校→】

